

新たな旅のスタイルの検討に関する 視点と話題提供

2021年3月17日（水）

常葉大学准教授 小豆川 裕子



新たな旅のスタイル、ワーケーションの推進に向けて

- 現在、新たな旅のスタイル、ワーケーション推進の担い手は、観光産業（旅行代理業、宿泊業、運輸業）、デベロッパー、自治体などである。意欲ある事業者等はすでにワーケーションプランの提案、誘致活動を行っている。
- ターゲットは企業、個人双方。前者は一部の先進企業を除いてニーズが顕在化しているとはいえない。後者は所属企業の制度に依存し、働く場所の選択が可能であれば、さまざまなプランを活用する可能性がある。今後は若年層（例えばオンライン授業を受講する大学生など）も取り込み、様々な地域で学び、働き、社会活動を行うなどのライフスタイルも考えられ、政策の後押しも期待される。
- 今後、この流れを着実に進めていくには、多様なプレイヤーとの連携により、各地域資源の魅力・アイデンティティを再確認し、有効な発信を行うことが重要である。また、都市圏と地方圏の接点づくりを踏まえた「おためしワーケーション」、地元企業との交流や副業人材の活用のしくみづくりなどもポイントとなる。
各施設の運営にあたっては、安全・安心の環境整備（感染予防、抗菌、アルコール消毒、非接触型スマートロックなど）が選択される要件となってくる。
- 業態転換を余技なくされた企業の在籍型出向（雇用シェア）は、官と民、都市と地域の人材・仕事の交流をもたらし、地域活性化の起爆剤となる可能性がある。
- 今後は、地方創生コーディネータの確保・育成、都市と地方の交流イベント開催、都市と地方のビジネスマッチングなど「ソフト面」に軸足を置き、持続可能な都市と地域の交流づくり、地方におけるイノベーション創出につなげていくことが期待される。

静岡県における新たな旅のスタイル、 ワーケーションの事例

- ✓ 静岡県 熱海市、下田市、伊東市、静岡市
- ✓ 産官学協働プロジェクト
しずおか中部連携中枢都市圏地域
課題調査の取組み

各自治体で関心が高まるワーケーション

□ 会員自治体は172（1道20県151市町村）（2021.3.3現在）設立時（2018.11）と比べて1年強で約2.5倍に増加

□ 静岡県では、静岡市、浜松市、下田市、御前崎市、南伊豆町が加入。

ワーケーション自治体協議会参加自治体

1	北海道		44	栃木県	那須塩原市	87	長野県	軽井沢町	130	和歌山県	紀の川市
2	群馬県		45		那珂川町	88		御代田町	131		かつらぎ町
3	神奈川県		46	群馬県	みなかみ町	89		立科町	132		高野町
4	富山県		47	埼玉県	秩父市	90		下諏訪町	133		有田川町
5	石川県		48		横瀬町	91		富士見町	134		印南町
6	福井県		49		小鹿野町	92		辰野町	135		みなべ町
7	山梨県		50	千葉県	銚子市	93		木曾町	136		白浜町
8	長野県		51		南房総市	94		山ノ内町	137		那智勝浦町
9	三重県		52	東京都	新島村	95		信濃町	138		古座川町
10	滋賀県		53	神奈川県	鎌倉市	96		飯綱町	139		串本町
11	奈良県		54		逗子市	97		原村	140	鳥取県	鳥取市
12	和歌山県		55	新潟県	糸魚川市	98		白馬村	141		米子市
13	鳥取県		56		妙高市	99		小川村	142		倉吉市
14	岡山県		57		湯沢町	100	岐阜県	郡上市	143		境港市
15	広島県		58	石川県	七尾市	101		揖斐川町	144		八頭町
16	香川県		59		小松市	102		白川町	145		琴浦町
17	福岡県		60		中能登町	103	静岡県	静岡市	146		北栄町
18	長崎県		61		能登町	104		浜松市	147		日吉津村
19	宮崎県		62	福井県	福井市	105		下田市	148		大山町
20	鹿児島県		63		鯖江市	106		御前崎市	149		南部町
21	沖縄県		64		永平寺町	107		南伊豆町	150		伯耆町
22	北海道	釧路市	65		高浜町	108	三重県	鳥羽市	151	広島県	呉市
23		帯広市	66	山梨県	甲州市	109		志摩市	152		福山市
24		北見市	67		富士川町	110	滋賀県	大津市	153		三次市
25		網走市	68	長野県	長野市	111		彦根市	154	山口県	長門市
26		富良野市	69		松本市	112		長浜市	155	香川県	土庄町
27		二セコ町	70		上田市	113		守山市	156	高知県	土佐清水市
28		俱知安町	71		岡谷市	114		粟東市	157	福岡県	うきは市
29		長沼町	72		飯田市	115		甲賀市	158		那珂川市
30		上川町	73		諏訪市	116		野洲市	159	長崎県	長崎市
31		中頓別町	74		須坂市	117		湖南市	160		佐世保市
32		斜里町	75		小諸市	118		高島市	161		五島市
33		浦河町	76		伊那市	119		東近江市	162		雲仙市
34	青森県	黒石市	77		駒ヶ根市	120		米原市	163		新上五島町
35	岩手県	八幡平市	78		中野市	121		日野町	164	熊本県	菊池市
36	秋田県	湯沢市	79		飯山市	122		竜王町	165	大分県	別府市
37		にかほ市	80		茅野市	123	京都府	舞鶴市	166	宮崎県	日向市
38	山形県	鶴岡市	81		塩尻市	124	兵庫県	新温泉町	167	鹿児島県	錦江町
39		大蔵村	82		佐久市	125	奈良県	生駒市	168		南大隅町
40		小国町	83		千曲市	126	和歌山県	和歌山市	169		徳之島町
41	福島県	いわき市	84		東御市	127		御坊市	170		伊仙町
42		北塩原村	85		安曇野市	128		田辺市	171	沖縄県	名護市
43		磐梯町	86		佐久穂町	129		新宮市	172		宮古島市

移住希望地ランキング：静岡県が1位に

- 2020年、ふるさと回帰センター窓口相談者が選んだ移住希望地は
1位：静岡県、2位：山梨県、3位：長野県
- リモートワークにより転職しない移住が実現。「1年以内の移住」希望が前年より6.1ポイント増加。

移住希望地ランキング（2020）

2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		窓 口 相 談 者 2020年	
順位	県名	順位	県名	順位	県名	順位	県名	順位	県名	順位	県名
1位	長野県	1位	山梨県	1位	長野県	1位	長野県	1位	長野県	1位	静岡県
2位	山梨県	2位	長野県	2位	山梨県	2位	静岡県	2位	広島県	2位	山梨県
3位	島根県	3位	静岡県	3位	静岡県	3位	北海道	3位	静岡県	3位	長野県
4位	静岡県	4位	広島県	4位	広島県	4位	山梨県	4位	北海道	4位	福岡県
5位	岡山県	5位	福岡県	5位	新潟県	5位	新潟県	5位	山梨県	5位	宮城県
6位	広島県	6位	岡山県	6位	福岡県	6位	広島県	6位	福岡県	6位	広島県
7位	高知県	7位	大分県	7位	岡山県	7位	福岡県	7位	新潟県	7位	北海道
8位	秋田県	8位	新潟県	8位	福島県	8位	富山県	8位	佐賀県	8位	和歌山県
9位	大分県	9位	長崎県	9位	宮崎県	9位	宮崎県	9位	高知県	9位	神奈川県
10位	宮崎県	10位	宮崎県	10位	富山県	10位	福島県	10位	愛媛県	10位	群馬県
11位	富山県	11位	高知県	11位	愛媛県	10位	佐賀県	11位	大分県	11位	岐阜県
12位	長崎県	12位	栃木県	12位	高知県	10位	大分県	12位	福島県	12位	茨城県
13位	香川県	13位	鹿児島県	13位	和歌山県	13位	高知県	13位	和歌山県	13位	栃木県
14位	山口県	14位	愛媛県	14位	群馬県	14位	群馬県	14位	香川県	14位	福島県
15位	新潟県	15位	富山県	14位	山口県	14位	山口県	15位	群馬県	15位	長崎県
16位	福島県	16位	神奈川県	16位	北海道	16位	愛媛県	16位	山口県	16位	宮崎県
17位	熊本県	17位	群馬県	17位	大分県	17位	香川県	17位	宮城県	17位	富山県
18位	岐阜県	18位	熊本県	18位	栃木県	18位	宮城県	18位	富山県	18位	山口県
19位	鹿児島県	19位	福島県	19位	長崎県	18位	和歌山県	19位	宮崎県	19位	愛媛県
20位	和歌山県	20位	秋田県	20位	宮城県	20位	長崎県	20位	山形県	20位	鹿児島県
20位	三重県	n = 6,777		n = 8,498		n = 9,772		n = 11,458		n = 4,400	
n = 4,325											

□ 世界レベルの地域資源の中で、豊かに働き・暮らし・遊ぶ『伊豆’s ライフスタイル』創造エリア（下田市・東伊豆町・河津町・南伊豆町・松崎町・西伊豆町）が設定される。

● **関係人口の創出による地域経済の活性化**

➢ ワークेशन、テレワーク、サテライトオフィスの誘致や拠点整備を推進

● **新たなワークेशनスタイルの提案**

➢ 来訪者と地元企業・人材等との交流機会を創出するとともに、コーディネート機能を充実させ、地域課題解決型ワークेशनを推進

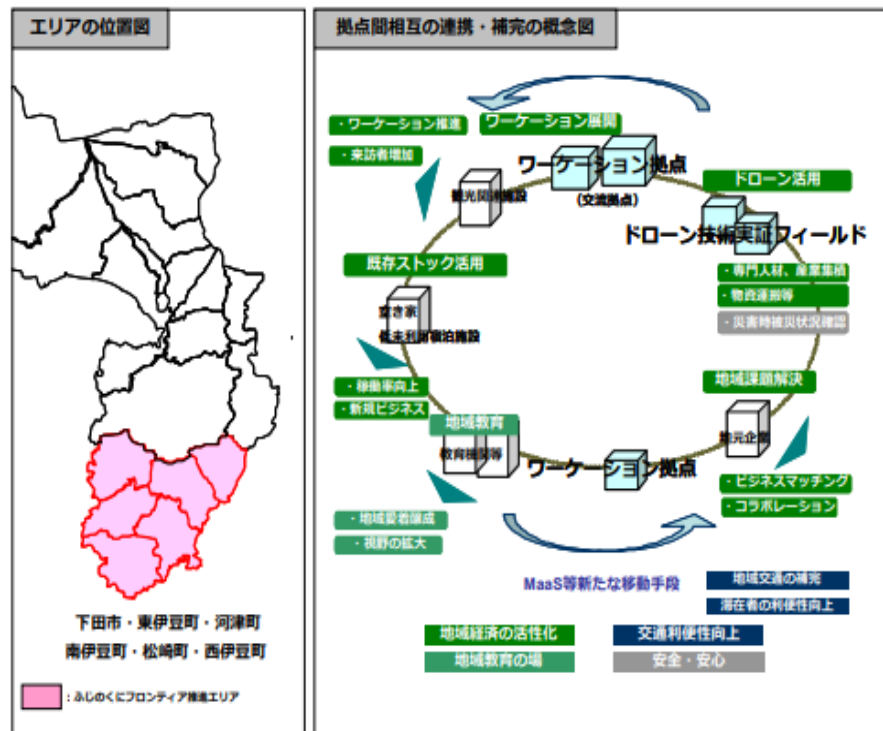
➢ 施設の相互利用、連携した情報発信、活動団体のネットワーク化等を実施

● **地域教育の場の創出**

● **観光型MaaSとの連携による地域活性化**

● **ドローン技術を活用した地域課題の解決**

ふじのくにフロンティア推進エリア 『伊豆’s ライフスタイル』創造エリア



Work×ation Site 熱海 「Work ×ation プロジェクト」第3弾

- 三菱地所株式会社と株式会社ホテルニューアカオは、静岡県熱海市でホテルニューアカオが運営する「アカオリゾート公国※（以下、「アカオリゾート」）」において、ワーケーションオフィス「WORK×ationSite 熱海」を 2021 年 5 月に開業予定。

「アカオリゾート」内にて実施可能なチームビルディング向けアクティビティ例



下田市

- 下田市は、テレワークを利用して、地方において「仕事＋休暇、地域体験等」を行う「ワーケーション」のメッカづくりに取り組んでいる。
- まちなかで気軽に「仕事」ができる場所として、新たに2か所に公設の『まちなかワークスポット』（下田市民文化会館、道の駅開国下田みなと）を開設した。



下田市 : Living Anywhere Commons

□ 下田市は、テレワークやワーケーションなどの新しい働き方・生き方の推進とともに、空き家等の有効活用や域産業の発展を目指し、株式会社LIFULLと地域活性化連携協定を締結し、ワーケーション施設を開設。

エントランス

造船会社の社員寮を活用したレジデントスペース



□ 本協定に基づく協力事項

- (1) 空き家等の有効活用、マッチング等に関すること。
- (2) 働き方改革を目指す都市部企業及び人材に向けたワーケーション等の機会を創出すること。
- (3) 関係人口構築に向けた魅力的な地域コンテンツ作りに関すること。
- (4) その他地域活性化に関すること。

□ 主な取組み

- (1) セミナー等の啓発活動を含めた空き家等の利活用に関する事業提案
- (2) 都市部企業及び人材に向けたワーケーションを受け入れるイベントの実施
- (3) 地域の企業、団体及びプロジェクトと都市部人材をマッチングする機会の創出
- (4) その他空き家等を活用した事業の創出支援

下田市：WORK×ation Site伊豆下田「Work ×ation プロジェクト」第4弾

- 三菱地所株式会社と静岡県下田市は、同市所有の指定文化財「下田御番所跡※1」に建つ旧樋村医院（築55年、3階建て、延床面積約275㎡）を三菱地所が賃借してリノベーションを行い、ワーケーションオフィス「WORK×ation Site 伊豆下田」として2021年夏にグランドオープン予定。

WORK×ation Site伊豆下田のイメージ



オーシャンビューの立地



静岡市：テレワーク移住のポテンシャル

「仕事」はそのまま、「**住まい**」は静岡市へ！

自然豊かな都市環境



静岡市
(テレワーク)

「住まい」

充実したテレワーク環境



東京-静岡ひかりで**1時間** (ちょうどよい距離感)

テレワーク移住
(仕事はそのまま)



静岡市 お試し体験事業

- テレワーク、ワーケーション利用の促進を加速させるため、実質自己負担なしの体験キャンペーンを行っている。
- 「何かあったらすぐ東京に行ける」距離という交通の利便性を軸として同市の魅力を発信し、個人向けのテレワーク体験や法人の地方進出向け助成を行っている。

2020.11.1 ~ 2021.3.31

市内シェアオフィス

1か月分の利用料を助成！

法人
向け



Move to しずおか

新しいビジネス様式支援事業

静岡市お試しテレワーク体験事業

～ 静岡市でのテレワーク体験を補助します！ ～



企業向け：「Move Toしずおか」

- 対象：静岡市進出を検討する県外企業
- 補助：1か月分のシェアオフィス賃料、
30日×2人分の宿泊費（日額7,200円まで）
往復交通費×2人分（1人あたり12,000円まで）
- 期間：2020年11月1日～2021年3月31日

個人向け：「静岡市お試しテレワーク体験事業」

- 対象：静岡県外の個人・企業社員で、静岡市でのテレワークを1日～1週間程度希望する人
- 補助：指定のシェアオフィス・コワーキングスペースの利用料（1回あたり4,000円まで）、
宿泊費（1泊あたり8,500円まで）、
静岡までの旅費（12,000円※新幹線または高速バスまで）
さらに、ワーケーション体験料が1万円補助される。
- 期間：2020年7月1日～2021年2月28日
※予算が上限に達した時点で終了

静岡市：地域おこし協力隊の活用（2020年10月～）

首都圏の活動拠点



wework東京スクエアガーデン



静岡市移住支援センター

(首都圏の活動)

②PR・誘致活動

- ・イベント開催（PR活動）
- ・企業訪問（各種誘致活動）
- ・SNS等での情報発信
- ・テレワーク移住相談

首都圏のターゲット

個人（テレワーカー）

フリーランサー

在宅勤務者
（テレワーカー）

二地域居住（検討者）

企業

サテライト
オフィス

ワーケーション

①2地域活動

地域おこし協力隊員

- ① 隊員自らテレワーク・2地域活動を実践
- ② 首都圏の企業・フリーランスへの多彩なアプローチ（テレワーク移住・ワーケーションの誘致）
- ③ 市内コワーキングスペースを活動拠点として、各事業者とのネットワーク化を促進
- ④ 地域外人材と地域との交流促進・マッチング

隊員の活動支援

(市内の活動)

④交流・マッチング



移住
二地域居住
ワーケーション
サテライトオフィス

市内の活動拠点

メインワークスペース兼住居



いちほし堂（コワーキングスペース・レジデンス・保育所）

③市内でのテレワーク

- ・テレワークの実践
- ・来訪者のアテンド
- ・テレワーク事業者とのパイプ作り
- ・市内テレワーク関連調査
- ・市内テレワーカーの発掘



中心市街地に集積するコワーキングスペース

静岡市 開発が進む多様なワーケーションエリア

まちなかエリア（葵区）



用宗エリア（駿河区）



清水区エリア



中山間地域



静岡市 東京WeWorkでさまざまな企業とコラボレーションを実施

- 静岡市は自治体ではじめて、全世界で展開する東京のコワーキングスペースWeWorkに進出。現在は16の自治体が進出。
- シティプロモーションの強化と市内起業の支援をめざし、イベント開催や入居企業とのコラボレーションを実施。2018年10月の入居から3カ月で150社と面談。

「テレワーク・デイズ」期間中は静岡市で「ワーク・ライフ・チェンジ」しよう！（シズオカナイトVol2.）
<2019.6.19夕刻 東京WeWorkにて>



静岡市 産官学協働プロジェクト例

- 2019年度「しずおか中部連携中枢都市圏地域貢献事業」において、市内コワーキングスペースを学生が取材して特徴を整理し冊子を制作。2020年度は周辺飲食等施設紹介を実施。
- 移住促進センター、民間コワーキングスペースにて配布。

企業の移転、移住、お試しテレワークのためのコワーキングスペースの利用促進冊子の制作

